

2025 やまがた県政の動き



山 形 県

表紙写真

米国ハワイ州でのトップセールス（「つや姫」セールスプロモーション10周年記念レセプション）

（2025.5.21～25 左上）

第1回『『県民まんなか』』みらい共創カフェ」（2025.6.6 右上）

JR東日本への山形新幹線E8系車両故障トラブルに係る緊急要望活動（2025.7.3 左中）

「やまがたフルーツ150周年」記念イベント「やまがたフルーツEXPO」(2025.8.9～10 右中)

一般社団法人山形県猟友会による要望活動（2025.11.4 左下）

鈴木憲和農林水産大臣へのコメの安定供給に係る緊急要望活動（2025.11.21 右下）

2025 やまがた県政の動き

1月

- 9日 山形県知事選挙告示 現職の吉村 美栄子氏と新人の金山 屯氏の2名が立候補
- 15日 政府、県、上山市が国民保護共同図上訓練を実施 イベント会場での爆破事案などの緊急対処事態発生を想定
- 16日 令和6年7月の記録的大雨で甚大な被害を受けた荒瀬川(酒田市)について、国土交通省が「災害復旧助成事業」採択 県、鶴岡市、酒田市及び遊佐町などからなる「山形県二級水系流域治水協議会」が、「日向川水系・月光川水系緊急治水対策プロジェクト」を始動
- 21日 国土交通省が令和11年3月まで山形ー羽田便の羽田発着枠政策コンテスト枠の配分継続決定 また全日本空輸(ANA)が運航する庄内ー羽田便においても、2025年度上期も1日5往復の期間増便の継続が決定
- 22日 JR米坂線の復旧を話し合う関係自治体首長会議が開催 平山副知事と置賜8市町の全首長が出席 鉄路での復旧を目指すことで一致
- 26日 山形県知事選挙投開票 吉村美栄子氏が当選し5選 投票率は39.67%で過去最低の平成13年(48.81%)を下回った
- 26日 山形県議会議員補欠選挙(酒田市・飽海郡選挙区)で佐藤 寿氏が当選 投票率は40.18%
- 30日 平山副知事が宮城県副知事らとともに、みちのくウエストライン「石巻新庄道路・新庄酒田道路」の整備促進に関する要望活動を財務省及び国土交通省等に対して実施

2月

- 3日 県は、令和6年7月の記録的大雨による農林水産関係の被害額(確定)が332億300万円となったことを発表
- 5日 新たな県産米として、水稻新品種「山形142号」の令和9年デビュー方針を発表 県産ブランド米「雪若丸」を親とし、収量性に優れる高温耐性品種として開発
- 7日 本県含む奥羽本線、羽越本線の沿線6県などで構成する奥羽新幹線建設促進同盟会等4同盟組織が国交省及びJR東日本へ要望書を提出 早期のフル規格新幹線の整備に向けた調査実施、米沢トンネル(仮称)整備の早期事業化等を要請

- 8日 県内の大雪被害を受け、知事を本部長とする山形県豪雪災害対策本部を設置し、本部会議を実施
- 14日 県は、2月7日からの大雪による農林水産被害を受け、被害の拡大防止に向けた緊急対策の実施を発表 農作業道の除雪や融雪剤の購入、農業用施設等の復旧などに係る経費について支援
- 17日 令和7年度一般会計当初予算案を県議会に内示 一般会計の総額は6,754億1,900万円で昨年度当初比3.9%増
- 18日 令和6年度山形県スポーツ賞授賞者を決定(68名2団体) 県庁で授賞式を開催
- 18日 第6次「つや姫」ブランド戦略(令和7年度～令和11年度)を決定 令和11年度までに生産量1万トン増の方針
- 19日 県議会2月定例会が開会(～3月19日)
- 25日 県と県市長会、町村会が、国へ除排雪費支援等を求める緊急要望を実施
- 28日 一般財団法人日本穀物検定協会が公表した「令和6年産米の食味ランキング」で「つや姫」が15年連続15回目、「雪若丸」が7年連続7回目の特A評価

3月

- 11日 「令和7年産『つや姫』『雪若丸』キックオフフォーラム」を開催(山形市・パレスグランデール) 高温少雨に対する栽培技術研修会などを実施
- 14日 令和6年度「樹氷復活県民会議」を開催 オオシラビソ林の自然再生事業実施計画の策定に向けて「自然再生協議会」の設置が承認
- 18日 認知症に人が家族等とともに住み慣れた地域で希望をもって自分らしく暮らし続けることができる共生社会の実現を目指す「山形県認知症施策推進計画」(期間:令和7年度～令和11年度)を策定
- 18日 県議会2月定例会で、3月28日で退任する平山雅之副知事の後任として、環境エネルギー部部長の高橋徹氏を起用する人事案が可決
- 19日 県議会2月定例会最終日に、正副議長選挙が行われ、第36代議長に田澤伸一議員、第70代副議長に楳津博士議員が選出
- 24日 「山形県教育、学術及び文化の振興に関する施策の大綱」(期間:令和7年度～令和11年度)及び「第7次山形県教育振興計画」(期間:令和7年度～概ね10年間)を策定

- 25日 県づくりの指針となる「第4次山形県総合発展計画」について、後期実施計画(期間:令和7年度～令和11年度)を策定 「山形県人口ビジョン」についても社会経済情勢を踏まえて改訂
- 25日 県立河北病院及び寒河江市立病院の統合再編・新病院整備に関する協議会を開催 西村山地域新病院基本構想を策定
- 26日 本県における食育・地産地消の在り方を示す「第4次山形県食育・地産地消推進計画」(期間:令和7年度～令和10年度)を策定
- 26日 吉村知事が、国土交通省等に対し「防災・減災、国土強靱化対策の更なる推進」に関する要望活動を実施
- 28日 平山雅之副知事が退任 後任の高橋徹氏へ県庁で辞令交付
- 31日 本県の産業・経済に関する具体的な施策の展開方向を示す「山形県産業振興ビジョン」(期間:令和7年度～令和11年度)を策定

4月

- 1日 国土交通省より、一般国道112号「山形南道路」(山形市蔵王松ヶ丘～山形市西崎、延長9.0km)の新規事業化が公表
- 1日 「やまがたe申請」(山形県電子申請サービス)を利用した、県議会への請願・陳情のオンライン提出が開始
- 1日 米沢工業高等学校と米沢商業高等学校が統合し、「山形県立米沢鶴城高等学校」が開校 同月7日に開校式を実施
- 2日 県水産研究所職員が鶴岡市の沿岸にて潜水作業中に死亡する事故が発生
- 3日 社会のあらゆる分野で孤独・孤立対策をオール山形で推進するための官民連携プラットフォーム「やまがたつながり支えあいネットワーク」を設立
- 4日 本県のスポーツの推進に関する施策の総合計画である「第2期山形県スポーツ推進計画」(期間:令和7年度～令和11年度)を策定
- 13日 庄内地域の動物愛護の拠点となる施設「庄内地区動物愛護センター」が開設 同日開所式を実施
- 16日 山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟(会長:山形県知事 吉村美栄子)がJR東日本本社と国土交通省を訪問し、山形新幹線米沢トンネル(仮称)整備の早期事業化等を要望
- 16日 本県観光施策の展開指針として、「第3次おもてなし山形県観光計画」(期間:令和7年度～令和11年度)を策定
- 20日 直近1週間で9件の建物火災が発生した事を受け、建物火災多発警報を発令(期間:4月26日まで) 約2年ぶりの発令

- 21 日 「やまがた鉄道沿線活性化プロジェクト推進協議会」の令和7年度初会合を実施(オンライン) 令和6年度の活動実績及び令和7年度の活動方針を確認
- 21 日 新庄北高校と新庄南高校を統合して令和8年4月に開校予定である「山形県立新庄志誠館高等学校」について、開校準備室を新庄北高校内に設置し、開所式を実施
- 25 日 高温耐性を持つ水稻新品種「山形 142 号」の名称が、一般公募により「ゆきまんてん」に決定

5 月

- 7 日 第1回「県及び市町村長・議長会議」がを県庁で開催 令和7年度の県の取り組みの説明や、クマの市街地出没対策、林野火災の未然防止、学生等の地元回帰など各市町村からの意見・提言について意見交換を実施
- 8 日 市街地におけるクマの目撃情報増加を受け、クマ出没注意報を発令
- 9 日 令和7年春の叙勲・褒章等の県内受章者に対する伝達式(知事伝達分)を文翔館(山形市)で開催 春の叙勲 21 名、春の褒章2名、危険業務従事者叙勲8名の受章者に勲章・褒章を伝達
- 9 日 環境省の第6回脱炭素先行地域の募集において、米沢市と飯豊町の共同提出事業(本県は共同提案者)が採択 脱炭素先行地域の採択は本件初
- 21 日 吉村知事が、米国ハワイ州を訪問しトップセールスを実施(～5月 25 日) 「つや姫」セールスプロモーションの10周年記念事業の実施や、県産酒、山形県の観光・文化を紹介
- 22 日 着任2～3年目の地域おこし協力隊員を対象にし、仕事づくりや任期後のキャリアについて考える「山形県地域おこし協力隊員仕事づくり研修」を初開催
- 27 日 県の移住相談窓口「(一社)ふるさと山形移住・定住推進センター」(くらすべ山形)の相談窓口を通じた令和6年度移住者数が 180 組 333 人となり、過去最多を更新したことを発表
- 30 日 県は、令和7年5月1日現在の本県推計人口が 999,378 人となったことを発表 大正9年以来 105 年ぶりに県人口 100 万人割れ

6 月

- 3 日 「やまがた未来共創会議」を県庁で初開催 産業・教育・金融・労働・言論・行政など計 29 団体の代表者と人口減少対策について意見交換

- 3日 「カーボンニュートラルやまがた県民運動推進大会」開催(山形市・ホテルメトロポリタン山形) やまがたカーボンニュートラル大使を務める山形工業高校生による取組み発表等
- 4日 山形県開発推進協議会(会長:吉村知事)が、関係府省に対し「令和8年度政府の施策等に対する提案」に係る提案活動を実施
- 4日 厚生労働省が令和6年人口動態統計を公表 全国 1.15 に対し、本県の合計特殊出生率は 1.17(前年比 0.05 減)
- 6日 持続可能で明るい山形県の未来に向け、吉村知事と県民が直接対話する「『県民まんなか』みらい共創カフェ」を初開催 令和7年度中に全 12 回開催
- 6日 「ポケふた」をお披露目 県内5か所に設置
- 6日 「やまがたフルーツ 150 周年」とさくらんぼのシーズン到来を祝うイベント「さくらんぼメモリアルフェスタ」を開催(山形市・文翔館など) 翌7日まで
- 7日 吉村知事が、東京都の大田市場で「やまがた紅王」など本県さくらんぼのトップセールスを実施
- 12日 県議会6月定例会が開会(～7月1日)
- 17日 山形新幹線E8系の車両故障が相次いで発生 翌 18 日からE8系の単独運転は中止され、東京までの直通運転の減少、区間運休などが発生
- 26日 令和7年度6月補正予算案(第2号)を県議会に内示 長引く物価高騰や、米国の関税措置による影響を受ける生活者・事業者の負担軽減事業費として、一般会計補正予算額 15 億 5,200 万円を計上
- 26日 山形空港の敷地内にクマが侵入 県は滑走路を閉鎖し、発着便 10 便が欠航

7月

- 1日 県議会6月定例会本会議において、副知事の定数を2とする条例改正案が可決(副知事2人制は平成 21 年以来) これを受け、副知事に折原英人氏を起用する人事案が追加提案され、可決
- 3日 山形新幹線E8系の車両故障トラブルを受け、吉村知事が JR 東日本本社を訪問し、抜本的対策を求める要請書を提出
- 3日 直近 1 週間における市街地でのクマ目撃情報が 10 件を超えたことを受け、クマ出没警報を発令 期間は8月末まで
- 7日 元国土交通省大臣官房参事官の折原英人氏が副知事に就任 16 年ぶりに副知事2人制が復活

- 10日 県立河北病院及び寒河江市立病院の統合再編・新病院整備に関する協議会を開催 新病院の建設予定地と運営母体の構成自治体について、県と市が基本合意書を締結
- 14日 吉村知事が台湾を訪問しトップセールスを実施 県産品販売プロモーションのほか、相互交流の推進、観光誘客促進に向けた関係者との意見交換等を実施
- 15日 山形新幹線E8系の車両故障トラブルを受け、県や県市長会、産業界などの代表者が、国とJR 東日本に早期の運行再開、観光需要の喚起を要請
- 20日 第27回参議院議員通常選挙 県選挙区で現職の芳賀道也氏が再選 県選挙区における投票率は62.55% 衆院選を含めた国政選挙では、6回連続の全国第1位
- 23日 「全国知事会議」に吉村知事が出席(青森市・ホテル青森) 米の安定的な供給と適正な価格形成に向けた緊急提言を提案したほか、女性活躍推進等について発言
- 25日 新庄志誠館高等学校の校章が決定 統合する新庄北高校と新庄南高校の校章のフォルムを組み合わせ「志」の文字をアレンジした中に、「新庄」の「S」と「志誠館」の「S」の2つの「S」を表現
- 28日 吉村知事と宮城県知事が、沿線の関係4団体とともに、みちのくウエストライン「石巻新庄道路・新庄酒田道路」宮城・山形・4団体連合整備促進期成同盟会を設立
- 29日 「令和7年度山形県 SDGs推進本部会議」を開催
- 29日 山形「つや姫」「雪若丸」ブランド戦略推進本部戦略会議において、令和8年の「つや姫」「雪若丸」の増産を決定
- 31日 令和6年度一般会計歳入歳出決算の概要を発表 歳入は6,967億300万円、歳出は6,856億9,800万円 歳入から歳出と繰越財源を差し引いた実質収支は53億2,400万円の黒字

8月

- 1日 「山形県総合政策審議会」を開催 第4次山形県総合発展計画の後期実施計画(期間:令和7年～令和11年)の重点テーマに係る推進方向等について審議
- 1日 大規模運休が続いていた山形新幹線のダイヤが約1か月半ぶりの正常化(福島駅での乗り換えが解消)
- 2日 高橋副知事らが大阪市中央卸売市場で夏の県産フルーツのトップセールスを実施 「やまがたフルーツ150周年」に合わせて初企画

- 4日 県は、令和7年6月からの高温・少雨による農作物への影響に対応する緊急支援として、農業用水確保及び園芸作物等高温対策の補助事業の実施を決定
- 5日 山形、新潟、福島の三県知事会議が開催(鶴岡市・東京第一ホテル鶴岡) 庄内地域での開催は初 米の安定供給と適正な価格形成による食料安全保障の確保などを国に要請することで一致
- 8日 吉村知事が、全国知事会男女共同参画プロジェクトチームリーダーとして、厚生労働省、内閣府に対し、ジェンダー平等の実現に向けた要請活動を実施
- 8日 吉村知事と宮城県知事らが、みちのくウエストライン「石巻新庄道路・新庄酒田道路」の整備促進に関し、新団体として初めての要望活動を財務省及び国土交通省に対して実施
- 6日 第1回「夜間中学在り方検討委員会」が開催(山形市・遊学館) 教育関係者、有識者からなる委員が県内への夜間中学の設置について協議
- 9日 「やまがたフルーツ150周年」を記念するイベント「やまがたフルーツEXPO」を開催(山形市・やまがたビッグウイング) 未来の果樹園展、シンポジウムなどを実施 翌10日まで
- 19日 県内の小学校等に通う5・6年生を対象に「こども知事室」を開催 吉村知事との懇談や「模擬記者会見」を実施
- 29日 令和6年7月豪雨により一部崩落し、片側交互通行の状態が続いていた戸沢村古口の国道47号線の復旧工事が完了 1年1か月ぶりに対面通行再開
- 29日 クマの目撃件数が減らない状況を受け、8月末までとされていたクマ出没警報について期間を9月末までに延長 クマ出没警報の延長は初
- 31日 「米坂線復活絆まつり」が開催(新潟県・関川村役場前) 吉村知事や花角新潟県知事らが参加し、JR米坂線復旧の機運醸成をアピール

9月

- 1日 山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟令和7年度促進大会を開催し、山形新幹線米沢トンネル(仮称)の早期実現などに関する大会決議を採択
- 1日 第7次山形県教育振興計画推進委員会が開催 「第7次山形県教育振興計画」の推進に向け、学識経験者等からなる委員が主体的な学びの推進などについて協議

- 2日 吉村知事がモンゴル国訪問(～9月5日) 山形大学、「新モンゴル学園」との、若手人材育成に関する三者協力覚書を締結するとともに、経済・観光交流の拡大に向けた現地関係者との意見交換等を実施
- 3日 山形、新潟、福島之三県で農林水産省、経済産業省、国土交通省、復興庁に要望書を提出 8月開催の三県知事会議で合意された事項について折原副知事らが要望書提出
- 6日 「山形県子ども会議」を開催 県内の小中高生 17 人が住み続けたい山形県にするためのアイデアを意見交換
- 7日 県と酒田市が合同総合防災訓練を実施(酒田市・DENKI TEKKO フィールド等) 県警、消防、自衛隊、自主防災会など 58 機関約 600 名が参加し、大規模地震及び津波を想定した訓練を実施
- 8日 山形新幹線の一部運休により影響を受けた県内の観光需要喚起の取組みとして「フルーツ王国山形へ行こう！秋旅キャンペーン」を開始 県内宿泊施設への宿泊を対象に、1人一泊あたり 3,000 円割引
- 8日 2年連続となるさくらんぼの不作を受け、生産者やJA、関係市町からなる「さくらんぼ産地再生会議」を開催し、令和 17 年を目標年として、収穫量1万トン以上を安定して確保する方針について合意
- 11日 「やまがた鉄道沿線活性化プロジェクト推進協議会」の令和7年度第2回会合を実施(オンライン) 令和7年度の活動状況の確認及び令和8年度の活動に関する意見交換を実施
- 12日 令和7年度9月補正予算案を県議会に内示 山形新幹線E8系の故障トラブルに伴う観光業への支援、クマの市街地出没対策強化など一般会計補正予算額 68 億 2,300 万円を計上
- 18日 「やまがた未来共創会議」の第2回会合開催 「『県民まんなか』みらい共創カフェ」で寄せられた意見などを基に、若者や女性の県外流出抑制案について意見交換
- 18日 山形新幹線米沢トンネル(仮称)整備スキーム検討会議を設置 県や国、JR東日本、有識者らが米沢トンネル(仮称)の整備計画や整備スキームなどについて検討
- 19日 「やまがた SDGs推進月間」開始(～10月19日)
- 19日 県議会9月定例会が開会(～10月9日)
- 30日 発令期間が9月末までに延長されていたクマ出没警報について、11月30日までに再延長

10月

- 3日 米ハワイ州の州議会議員、経済・農業関係者が来県し、吉村知事と懇談
相互交流の継続を確認
- 4日 一般国道 344 号「安田バイパス」が全線開通 同日開通式を実施
- 6日 令和6年外国人旅行者県内受入実績調査の結果を公表 受入延人数は
618,549 人(前年比 153.9%増) 2年連続で過去最高
- 6日 令和6年度の県産農産物輸出量、輸出額(推計)を発表 輸出量は 3,041 トン、
輸出額は 13 億 7,100 万円となり、ともに過去最高を更新
- 7日 折原副知事が東根、天童、仙台市長とともに、一般国道 48 号の県境部にお
ける機能強化に関する要望活動を国土交通省に対して実施
- 8日 令和7年人事委員会勧告 月例給・ボーナスともに引き上げ 4年連続の増
加
- 16日 県と県警が連携し、市町村長を訪問し、クマ等の「緊急銃猟」についての課
題や懸案の相談を受ける「緊急銃猟タスクフォース」を立ち上げ
- 16日 県は、令和7年度新規就農者動向調査の結果について公表 新規就農者
数は 405 人で、400 人を超えるのは調査を開始した昭和 60 年以降初 東北
では 10 年連続でトップ
- 20日 「やまがた森林(もり)ノミクス県民会議」を開催 県産木材の利活用やスマー
ト林業について委員が意見交換を実施
- 21日 高市内閣が発足し、本県選出の鈴木憲和衆議院議員が農林水産大臣とし
て初入閣
- 21日 第2回「県及び市町村長・議長会議」を県庁で開催 令和8年度県政運営の
基本的考え方などの説明や、クマ対策、松くい虫被害対策、部活動改革な
ど各市町村からの意見・提言について意見交換を実施
- 22日 米国有カメディア「ナショナルジオグラフィック」が選ぶ「2026 年に行くべき世
界の旅行先 25 選」が発表され、国内で唯一本県が選出
- 23日 吉村知事が、東京都の銀座三越でJA山形中央会長とともに「つや姫」「雪
若丸」のトップセールスを実施
- 25日 「“世界はとなり”やまがたフェス」初開催 多文化共生社会への理解を深め
るため、海外での体験談や各国の文化を紹介
- 29日 「山形新幹線米沢トンネル(仮称)整備スキーム検討会議」の第1回会議を
実施(東京都・都道府県会館) 米沢トンネル(仮称)の早期事業化実現の
ため、整備計画、整備スキームの在り方について検討していくことを確認

- 31日 増加するクマの目撃情報と人身被害の発生状況を受け、「クマ緊急対策会議」を開催

11月

- 4日 一般社団法人山形県猟友会が、吉村知事に対し、クマの緊急銃猟制度に係る会員の不安払拭などに向けた緊急要望書を提出
- 4日 「夜間中学在り方検討委員会」が、県内への夜間中学の早期設置を求める報告書を本県教育委員会へ提出
- 5日 令和7年秋の叙勲・褒章等の県内受章者に対する伝達式(知事伝達分)を文翔館(山形市)で開催 秋の叙勲 19名、秋の褒章2名、危険業務従事者叙勲8名の受章者に勲章・褒章を伝達
- 6日 「北海道東北地方知事会議」(青森県むつ市)に吉村知事が出席 国に対してクマ対策に関する緊急要望の実施を決定
- 6日 「山形県農地利用地域計画実現促進会議」の初会合が開催 計画区域の農地の約3割で10年後の担い手が未定であることを踏まえ、計画のブラッシュアップに向け支援する方針を確認
- 11日 令和7年のクマによる人身被害発生件数が12件となり、統計を取り始めた昭和52年以降、年間最多を更新(令和7年中には13件となった)
- 12日 令和7年度山形県戦没者沖縄慰霊碑「山形の塔」慰霊祭を実施(沖縄県糸満市) 吉村知事や戦没者遺族のほか、九里学園高等学校の生徒約60名も参加
- 17日 第2回「クマ緊急対策会議」を開催 短期・中長期的なクマ対策の方向性を示す「山形県版クマ被害対策パッケージ」を取りまとめ 市町村、猟友会への装備品購入支援など、事業費5,300万円を専決処分
- 17日 オリエンタルカーペット株式会社マーセライズ棟ほか3件(山辺町)について、国の登録有形文化財(建造物)として新規登録
- 19日 知事と副知事、県議会議員の報酬等について審議する「山形県特別職報酬等審議会」を開催 審議会の設置は8年ぶり 月額報酬等の3.98%引上げを知事に答申
- 19日 吉村知事が大阪市の高島屋大阪店及び名古屋市の名鉄百貨店本店で「つや姫」「雪若丸」のトップセールスを実施
- 21日 吉村知事が、鈴木憲和農林水産大臣にコメの安定供給などを求める緊急要望を実施

- 21日 吉村知事らが、宮城・山形横断自動車国道、日本海沿岸東北自動車道、東北中央自動車道の建設促進に関し、3同盟会合同での要望活動を国土交通省等に対して実施
- 25日 農林水産省が令和7年産さくらんぼの統計調査結果を公表 本県産さくらんぼの収穫量は8,310トンで、平成以降最少
- 26日 政府主催の全国都道府県知事会議(東京都・総理官邸)に吉村知事が出席 賃金の男女間及び地域間格差の解消などを要請
- 27日 山形空港及び庄内空港の機能強化検討会議を初開催(山形市・やまぎん県民ホール) 県内外の有識者が両空港の現状や課題について議論を実施

12月

- 1日 山形県農業再生協議会の臨時総会で、令和8年産主食用米の「生産の目安」を決定
- 2日 県議会 12月定例会が開会(～12月19日)
- 3日 内閣府が令和4年度県民経済計算の推計結果を公表 本県の1人当たり県民所得は299万4,000円で全国26位、東北1位
- 9日 公立大学法人東北公益文科大学の設立が総務大臣及び文部科学大臣から認可 令和8年4月の東北公益文科大学の公立化が決定
- 9日 県内の観光事業者等を対象にしたクマ対策研修会を実施 クマの生態と観光地での対策について研修
- 12日 東北農政局が令和7年の本県産主食用米の収穫量(確定)を発表 34万9,500トンで前年比4万4,000トン増
- 13日 鈴木農林水産大臣が来県し、酒田市の庄内浜海岸林の松くい虫被害の現状を視察
- 15日 令和7年度12月補正予算案(追加)を県議会に提出 物価高騰対策などを目的とした事業費として、一般会計補正予算597億4,300万円を計上
- 15日 国土交通省が令和6年水害による被害額(暫定値)を発表 本県の被害額は7月豪雨の影響により822億円となり全国2位
- 16日 山形県遊佐町沖での洋上風力発電事業について、経済産業省及び国土交通省が、事業者から提出された公募占用計画を認定
- 23日 県立米沢女子短期大学が「県立米沢女子短期大学魅力向上検討会議」を開催 地域連携・情報発信の強化や共学化などを提案する報告書を作成
- 24日 冬季天候不良のため、飛島への定期船が、現船就航以来過去最長となる22日間連続欠航(12月24日～1月14日)

作成 令和8年3月30日
山形県総務部広報広聴推進課
山形市松波二丁目8番1号
電話番号 023(630)2106